

とき 令和4年6月28日(火) 13:30
 ところ 能代市文化会館
 実出席 122人 合計 418人
 書面議決 296人 出席率 83.6%
 委任状 0人

通常総代会提出議案

議案第1号	第24年度事業報告及び剰余金処分案の承認について 賛成418 反対0 棄権0 無効0
議案第2号	定款の一部変更について 賛成418 反対0 棄権0 無効0
議案第3号	JAあきた白神第九次3力年計画の設定について 賛成418 反対0 棄権0 無効0
議案第4号	令和4年度事業計画の設定について 賛成418 反対0 棄権0 無効0
議案第5号	令和4年度経費の賦課金額、賦課の方法、徴収時期及び徴収方法の決定について 賛成418 反対0 棄権0 無効0
議案第6号	令和4年度理事及び監事の報酬決定について 賛成417 反対1 棄権0 無効0
付帯決議	決議事項中、行政庁の認可、承認等を必要とするものについて、総代会決議の内容を変えない字句等の変更は理事会に二任願します。
付帯決議	年度途中で、事業計画の一部について軽微な変更を要するに至ったときは、理事会で計画の変更ができることを承認願います。
賛成418	反対0 棄権0 無効0

あきた白神農業協同組合 第24回通常総代会々々場

第九次3力年計画など全議案承認

特集

① 営農指導事業

複合経営を推進する当組合において特に「白神ねぎ」と「白神きゃべつ」については若手新規就農者が増加傾向にあります。これら作物を主軸に面積、単収の増加、品質の向上を目指しながら、農業所得の向上に努めてまいりました。コロナ禍の影響による消費減少などにより、全国的に潤沢に物量もあつたことから各品目において価格が軟調に推移した二年でした。コロナ禍によって業務用・飲食店の需要が未だ見通せないなか、品質向上・反収確保により単収アップと農業所得向上にこだわった指導・支援を強化するとともに、生産部会、行政、関係機関との更なる連携強化を図り、「白神青果物販売目標25億円販売達成プロジェクトチーム」を中心に事業計画必達を目指します。

喫緊の課題となっている労働力不足については、無料職業紹介所を中心に、先進地事例等を積極的に活用して労働力不足解消に向け取り組んでまいります。

② 生活指導事業

コロナ禍の影響により、各種事業の縮小を余儀なくされましたが、JA健康寿命100歳プロジェクトとして、助けあい組織を中心にミニデイサービスの開催や、ノルディックウォーキング体験会の開催など、感染予防対策に配慮しながらも実施することが出来ました。

女性部活動では、能代市で開催された第144回県種苗交換会において「JAあきた白神女性部食堂」を運営し、期間中、長蛇の列となる人気をみせました。

SDGsへの理解をより深め意識しつつ、組合員や地域住民を対象とした学習活動や文化交流を継続的に行うことで、地域交流の場づくりや豊かな地域づくりを進め、また、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように助けあい、健康づくりを重点とした活動を進めてまいります。

③ 購買事業

生産資材については、多様化する農家ニーズへの対応と魅力ある予約購買体制の強化を図り、営農資材Web注文サイトを活用し予約注文や当用注文の受注に取り組みました。

生活資材は、組合員ニーズの変化を把握しながら生活に密着した商品や季節に即した商品の提供、安全安心な商品の選択と提案による拡販に努め、農業機械においては例年開催される各展示会等が軒並み中止となりましたが、農家訪問等を強化し、高性能で安価型農業機械の提案を行うてまいります。

今年度は、肥料の銘柄集約などトータル生産コスト低減に向けた更なる取り組み強化のほか、営農資材Web注文サイトの利用拡大と各支店へのタッチパネル設置に取り組みでまいります。また、JA-SSでは営農用燃料を中心とした魅力あるキャンペーンを随時開催してまいります。

④ 販売保管事業

米穀・大豆は、収穫期の天候不順から作業を心配されましたが、数量・品質とも平年並みに推移しました。

米穀は契約数量確保のため集荷推進運動を実施した結果、集荷数量247503俵、計画対比で104.9%の実績となりましたが、販売面では近年にない極めて厳しい需給環境下のもと概算金も前年を下回る価格となりました。

青果物の販売面では、生産者所得の増大を第一に考え、新規作付けと増反の一助となるよう有利販売に努めてまいりました。また、白神青果物の販路拡大と知名度向上のため、DVDによる各品目のPRや様々なイベントでのPR活動等に努めた結果、青果物全体では、出荷量6221.2t、取扱高191709万円、kg単価308円となりました。出荷量については、前年対比105.9%と過去最高の実績となりました。

「白神ねぎ」「白神きゃべつ」「白神みよ

うが」「白神山うど」といった商標登録を取得している品目を軸に、他品目の取り込みも行う「白神ブランド」の知名度向上と構築に努めてまいります。

⑤ 利用事業

カントリーエレベーター事業は荷受けを例年よりも早い9月15日から開始し、大潟村カントリーエレベーター公社様からも協力頂きながら運営しました。米・大豆とも取扱量は増加しましたが、高水分の粉・大豆の荷受増加と燃料費単価の高騰の影響を大きく受けました。

育苗事業においても燃料費価格の高騰の影響を受け、利用事業総利益全体では、計画対比86.1%(前年対比83.6%)となりました。

野菜生産の拡大に伴い育苗施設の増設を検討していくとともに、種苗センターでも生産拡大の計画の推進に基づき、効率的な施設運用を図ってまいります。また、「白神ねぎ」「白神きゃべつ」については、早期出荷を目指した苗の供給に努めます。カントリーエレベーターでは、米・大豆生産者とも利便性の更なる向上に努め、生産者の労力軽減と、作業の効率化を図ってまいります。

⑥ 信用事業

JAバンクご利用者様に安心安全をお届け、愛されるJAバンクをめざし「農業とくらしに貢献し、選ばれ、成長し続けるJAバンク」の実現に向けて、定期キャンペーンによる新規顧客の増員と、純新規契約の獲得に取り組んでまいりました。

融資面において、ご利用者様のニーズに際するため、住宅ローン、農業資金、マイカーローン、教育ローンの特別金利キャンペーン等を展開し商品提供してまいりました。

また、融資についても、農業・生活のメインバンクとして機能強化を図り、シニア拡大に向けた取り組みを推進してまいります。

大に向けた取り組みを展開してまいります。

⑦ 共済事業

事業基盤(共済契約者)の維持拡大に向けて、新型コロナウイルス予防・感染拡大防止対策を徹底しながら、LAによる既加入世帯全戸への3Q訪問活動による「ひと・いえ・くるま」の総合保障のご案内と世帯内深耕による次世代・次々世代層との接点強化に取り組み、組合員・利用者の信頼と期待に応え、豊かで安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組んでまいります。

また、地域貢献活動としての園児を対象とする「超神ネイガー交通安全教室」や全共連秋田県本部が主催する「第19回JA共済学童野球大会」は、残念ながら新型コロナウイルス予防・感染拡大防止の観点から開催中止を余儀なくされました。

若年層を中心とした「ひと保障」複数提案、「い・え・くるま・農業」の万全な保障提供に向けた取り組みを強化し、効果的かつ利用者の利便にかなう活動を展開してまいります。

⑧ 福祉介護事業

長引くコロナ禍により介護ニーズの変遷もみられる中、地域に密着したJAとして、組合員及び地域の方々に住み慣れた地域で安心して暮らしていきけるよう地域福祉の向上を目指し、ライフステージに合わせた支援の提供を行政や医療・福祉関係機関、地域住民と共に実践してまいります。新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動や面会等が制限される中、利用者や職員が一体となって感染症対策に取り組まれました。

引き続き、介護保険法の趣旨に添いながらも行政や福祉関係機関と綿密な連携を図りながらも、ご利用者・ご入居者様の満足度を第一に考え、各介護事業とも連携して取り組んでまいります。

※詳細は「第24回通常総代会資料」をご参照下さい。

第24回通常総代会表彰者 ～永年勤続者表彰～

協 同 班 長

松村一彦(のしろ東地区) 熊谷昭次(のしろ北地区) 幸坂隆(のしろ北地区)
 安井唯男(二ツ井地区) 成田哲雄(二ツ井地区) 畑山明男(二ツ井地区)
 山谷哲弘(二ツ井地区) 佐藤安信(藤里地区) 成田陽悦(藤里地区)
 山田弘一(藤里地区) 荒川忠良(藤里地区) 佐々木忠義(藤里地区)
 (敬称省略)

部 会

大豆生産組合長 大塚忠之 比内地鶏部会長 今野武義
 (敬称省略)

職 員～勤続30年～



後列左から…小山 満敬、藤嶋洋一郎、小山 利彦、安部 茂樹、工藤 秀一
 前列左から…成田真紀子、船越志保子、清水美由紀、清水美奈子 (敬称省略)

J Aあきた白神第九次3か年計画 農業と地域社会の持続力向上 ～人づくり、産地づくり、地域づくり、強いJAづくりを通じて～

我々は、組合員をはじめとした事業利用者に「食と農を基軸とした」総合サービスを提供し、その役割を継続的に果たすためには、JAの組織・経営基盤を確立し、健全な経営で信頼を高めて「次世代」の組合員とともに永続的に「存立」し続けるため、3つの基本方針を掲げて取り組んでまいります。

①持続可能な農業の実現

定期的な訪問活動を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。

重点目標

成果指標・目標値

複合化推進による青果物の割合向上		想定 農業所得向上	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
令和3年度	米	＜10aあたり＞ 米 40,000円 ↓ 青果物100,000円以上	目 標	目 標	目 標			
	青果物		米 青果物	米 青果物	米 青果物			
	56%		54%	46%	52%	48%	50%	50%
複合化推進による青果物の面積拡大		想定 農業所得向上	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
令和3年度	292ha	販売額向上	目 標	目 標	目 標			
			300ha	303ha	306ha			
生産トータルコストの低減		想定 コスト低減効果	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
Webシステムによる予約生産資材の取扱拡大			目 標	目 標	目 標			
令和3年度	対象：組合員	55%	当用対比▲3.6%	60%	65%	70%		

②安心して暮らせる豊かな地域社会の実現

「農業者の売上増加・コスト低減」につながる担い手目線での必要な取り組みについて、目標及び具体策の策定とあわせて実施し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「安心して暮らせる豊かな地域社会の実現」にも取り組みます。

- ・複合経営化推進による青果物への誘導
- ・予約生産資材の取扱い拡大によるコストの低減
- ・農業資金の安定的な提供

重点目標

成果指標・目標値

農業資金提供		令和4年度	令和5年度	令和6年度
令和3年度	農業融資実行額累計額	目 標	目 標	目 標
	単位:百万円	483	363	367

③目指す姿を実現する強いJAづくり

改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、自己改革を着実に実践します。

重点目標

成果指標・目標値

営農経済事業の収支改善		令和4年度	令和5年度	令和6年度
令和3年度	事業総利益	目 標	目 標	目 標
	単位:百万円	656	819	792

※詳細は「第24回通常総代会資料」をご参照下さい。